

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-01			
施設名	特別養護老人ホームサンハイム荒川					
所在地	南千住三丁目14番7号					
部署名	福祉部福祉推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成6年	2,200,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②					
併設施設	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター					
竣工年月日	平成6年10月31日		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成7年2月1日	職員数	54	0		
構造	RC造	階層	地上3階	地下1階		
面積	敷地面積	1,706.46㎡				
	延床面積	2,931.71/3,804.66㎡				
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則					
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ		
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 カメリア会	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施 ② 要介護認定・行政手続きの代行 ③ 診療の補助、看護、保険衛生に関すること ④ 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤ 身体機能の維持向上のための機能訓練 ⑥ 健康管理 ⑦ 趣味いきがい活動					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間/365日				
	休日	なし				
施設基本データ等	特養利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	短期入所利用率(%)	94.8	94.0	89.3	91.0	95.0
	特養:定員(人)	94.4	112.7	120.6	100.6	100.0
	短期入所:定員(人)	56	56	56	56	56
	指定管理者の支出合計(千円)	12	12	12	12	12
	指定管理者の人件費(千円)	277,217	281,002	370,207	258,737	
	指定管理者の人件費(千円)	165,169	185,675	204,558	153,307	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

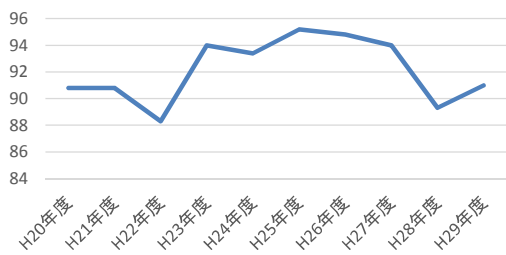
	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	0		0	0	地方税等	0
	物件費	1,960	7,339	5,379	国庫支出金	164	0	▲164	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	59,938	59,256	▲682	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	164	0	▲164	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲61,734	▲66,595	▲4,861	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲245	▲240	5	
	行政費用合計(b)	61,898	66,595	4,697	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲61,979	▲66,835	▲4,856	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲61,979	▲66,835	▲4,856	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,864	2,826	▲38
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	▲62	▲242	▲180	特別区債	2,806	2,826	20
	固定資産	有形固定資産	2,382,777	2,323,521	▲59,256	賞与引当金	0	0	0
		土地	1,491,741	1,491,741	0	その他の流動負債	58	0	▲58
		建物	2,194,670	2,194,670	0	固定負債	32,194	29,369	▲2,825
		建物減価償却累計額	▲1,303,634	▲1,362,890	▲59,256	特別区債	32,194	29,369	▲2,825
		工作物等	0	18,866	18,866	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	▲18,866	▲18,866	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	35,058	32,195	▲2,863
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	2,349,020	2,291,766	▲57,254	
その他の固定資産	1,363	682	▲681	正味財産の部合計	2,349,020	2,291,766	▲57,254		
資産の部合計	2,384,078	2,323,961	▲60,117	負債及び正味財産の部合計	2,384,078	2,323,961	▲60,117		
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に1,383千円、建物修繕等費用に係る委託料に5,956千円がかかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	59	62.4	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	28	28.1	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	21,406	23,211	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	55	59.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	168,263	182,452	
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して16,058円増加しているが、これは今年度から指定管理者が変更となり、建物修繕等費用として委託料を支出したことにより行政費用が増加したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(特養)	95	95	95	95	95
	実績値	95	94	89	91	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度より委託から指定管理に変更、平成29年度より現指定管理者変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○当該施設は、平成29年度より指定管理者が変更となり、利用者に影響のないよう引継ぎがなされているところではあるが、今後、施設が安定的に運営されているかなど注視していくとともに、助言・指導等を行っていくことが必要である。 ○建設から24年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連携を密に安定的な運営が図れるよう支援していく。 ○代替施設を確保する等の改修方法を検討し、実施していく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-02			
施設名	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川					
所在地	南千住六丁目36番5号					
部課名	福祉部福祉推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成元年	1,000,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②					
併設施設	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター					
竣工年月日	平成1年3月20日		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成1年4月1日	職員数	91	4		
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階		
面積	敷地面積	2,283.18㎡				
	延床面積	3,501.97/4,198.50㎡				
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則					
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ		
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 聖風会	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施 ② 要介護認定・行政手続きの代行 ③ 診療の補助、看護、保険衛生に関すること ④ 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤ 身体機能の維持向上のための機能訓練 ⑥ 健康管理 ⑦ 趣味いきがい活動					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間/365日				
	休日	なし				
施設基本データ等	特養利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	短期入所利用率(%)	88.4	92.0	93.2	94.7	95.0
	特養:定員(人)	118.1	95.5	94.9	95.4	95.0
	短期入所:定員(人)	100	100	100	100	100
	指定管理者の支出合計(千円)	10	10	10	10	10
	指定管理者の人件費(千円)	442,824	449,678	481,398	468,925	
指定管理者の人件費(千円)	313,252	318,741	349,259	334,216		
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

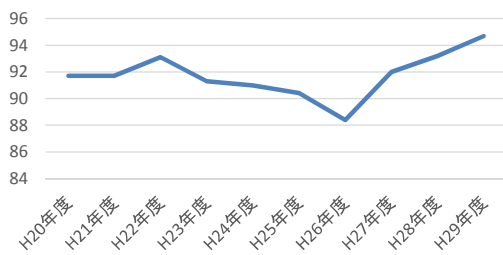
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	2,485	1,438	▲ 1,047	国庫支出金	162	0	▲ 162
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	26,621	28,005	1,384	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	162	0	▲ 162
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 28,944	▲ 29,443	▲ 499
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	29,106	29,443	337	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 28,944	▲ 29,443	▲ 499
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 28,944	▲ 29,443	▲ 499	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 180	▲ 360	▲ 180	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,011,152	986,683	▲ 24,469	その他の流動負債	0	0	0
	土地	753,552	753,552	0	固定負債	0	0	0
	建物	1,002,984	1,006,993	4,009	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 745,385	▲ 773,862	▲ 28,477	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	6,885	8,254	1,369	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 6,884	▲ 8,253	▲ 1,369	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,010,972	986,323	▲ 24,649	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,010,972	986,323	▲ 24,649	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,010,972	986,323	▲ 24,649	
資産の部合計	1,010,972	986,323	▲ 24,649					
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に1,438千円かかっている。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	75	77.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	35	34.9	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	9,903	8,408	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	73	71.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	95,011	80,666	
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して14,345円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(特養)	95 実績値 88	95	95	95	95
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○建設から29年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○空床利用のショートステイを実施するなど、現状の利用率を維持、向上させる必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○代替施設を確保する等の改修方法を検討し、実施していく。 ○可能な限り空床にならないよう、利用者の健康管理の徹底や、やむを得ず発生する空床に対して、ショートステイ利用や早期の新規利用者の入所など、対策に取り組む。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						

特養利用率(%)



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-03	
施設名	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川			
所在地	荒川五丁目47番2号			
部課名	福祉部福祉推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
	建築 増改築① 増改築②	平成11年 1,800,000		
併設施設	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター			
竣工年月日	平成11年2月8日		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成11年4月1日	職員数	33	0
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階
面積	敷地面積	1,585.62㎡		
	延床面積	2,970.05/3,840.47㎡		
設置目的・経緯	家族とともに生活することが困難な介護を要する高齢者に対して、日常生活を営むために必要な介護等を提供する。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立特別養護老人ホーム条例及び規則			
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター ○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック ● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 上智社会事業団	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 生活指導、面接、身上調査、処遇計画の作成及び実施 ② 要介護認定・行政手続きの代行 ③ 診療の補助、看護、保険衛生に関すること ④ 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ⑤ 身体機能の維持向上のための機能訓練 ⑥ 健康管理 ⑦ 趣味いきがい活動					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間/365日				
	休日	なし				
施設基本データ等	特養利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	短期入所利用率(%)	98.0	98.0	95.9	98.0	98.0
		79.0	79.0	75.3	89.0	85.0
	特養:定員(人)	50	50	50	50	50
	短期入所:定員(人)	6	6	6	6	6
	指定管理者の支出合計(千円)	240,182	231,106	236,486	251,260	
指定管理者の人件費(千円)	163,015	159,229	165,428	173,471		
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

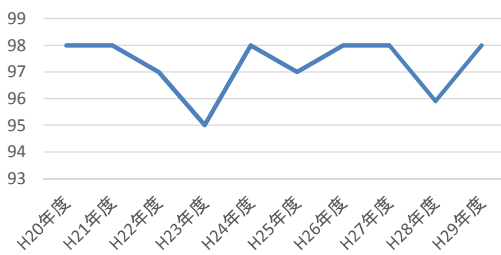
	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	0		0	0	地方税等	0
	物件費	5,162	4,629	▲ 533	国庫支出金	161	0	▲ 161	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	48,727	48,230	▲ 497	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	161	0	▲ 161	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 53,728	▲ 52,859	869	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 2,433	▲ 1,190	1,243	
	行政費用合計(b)	53,889	52,859	▲ 1,030	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 56,161	▲ 54,049	2,112	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 56,161	▲ 54,049	2,112	
貸借対照表	流動資産	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	46,250	33,495	▲ 12,755
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	▲ 50	▲ 100	▲ 50	特別区債	46,250	33,495	▲ 12,755
	固定資産	有形固定資産	1,669,889	1,640,971	▲ 28,918	賞与引当金	0	0	0
		土地	762,575	762,575	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	1,765,201	1,783,945	18,744	固定負債	33,495	0	▲ 33,495
		建物減価償却累計額	▲ 857,888	▲ 905,548	▲ 47,660	特別区債	33,495	0	▲ 33,495
		工作物等	36,171	36,171	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 36,171	▲ 36,171	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	79,745	33,495	▲ 46,250		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	1,597,459	1,613,105	15,646		
その他の固定資産	7,365	5,729	▲ 1,636	正味財産の部合計	1,597,459	1,613,105	15,646		
資産の部合計	1,677,204	1,646,600	▲ 30,604	負債及び正味財産の部合計	1,677,204	1,646,600	▲ 30,604		
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に4,629千円かかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	50	51.7	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	24	23.8	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	17,750	17,797	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	70.0	69.0	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	144,436	144,819	
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して3,306円増加しているが、これはナースコール設備その他改修工事による建物資産価値の増加に伴い、行政費用(減価償却費)が増加したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(特養)	目標値 95 実績値 98	95 98	95 96	95 98	98
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○建設から19年経過し、施設設備等老朽化が進んでいるため、改修を実施する必要があるが、入所施設であるため、全面的にサービスを休止し、大規模改修等を実施することが困難である。 ○空床利用のショートステイを実施するなど、現状の利用率を維持、向上させる必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○代替施設を確保する等の改修方法を検討し、実施していく。 ○可能な限り空床にならないよう、利用者の健康管理の徹底や、やむを得ず発生する空床に対して、ショートステイ利用や早期の新規利用者の入所など、対策に取り組む。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-04		
施設名	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住三丁目14番7号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成6年	700,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	特別養護老人ホームサンハイム荒川				
竣工年月日	平成6年10月31日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成7年2月1日	職員数	15	0	
構造	RC造	階層	地上3階	地下1階	
面積	敷地面積	1,706.46㎡			
	延床面積	872.95/3,804.66㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 カメリア会	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時から午後5時15分				
	休日	日曜・12月30日～1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	営業日数	80.7	90.4	80.4	78.5	80.0
	通所介護:定員(人)	-	-	309	308	309
	認知症対応型通所介護:定員(人)	35	35	35	35	35
	(認知は27年度末をもって廃止)	12	12	0	0	0
	指定管理者の支出合計(千円)	89,165	89,205	82,172	90,668	
	指定管理者の人件費(千円)	58,129	61,524	57,265	60,161	
に指定管理に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

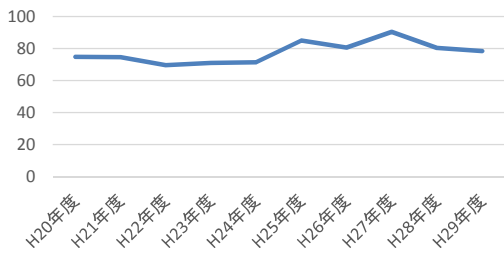
	勘定科目	H28年度	H29年度	差額		勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	0			0	0	行政収入	地方税等
	物件費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0		都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	19,322	19,322	0		その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 19,322	▲ 19,322	0	
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	19,322	19,322	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 19,322	▲ 19,322	0	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 19,322	▲ 19,322	0	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額		
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
		有形固定資産	290,553	271,230	▲ 19,323		賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物	715,647	715,647	0		固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 425,094	▲ 444,417	▲ 19,323		特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産	290,553	271,230	▲ 19,323
		その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	290,553	271,230	▲ 19,323
	資産の部合計	290,553	271,230	▲ 19,323		負債及び正味財産の部合計	290,553	271,230	▲ 19,323	
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。									

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	59	62.1	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	28	27.5	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	20,654	20,654	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	70	66.4	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	62,531	62,734	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,278	2,283	
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して203円増加しているが、これは今年度の開館日数が前年度より減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 81	80 90	75 80	75 79	80
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度より委託から指定管理に変更,平成29年度より現指定管理者に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○当該施設は、平成29年度より指定管理者が変更となり、利用者に影響のないよう引継ぎがなされているところではあるが、今後、施設が安定的に運営されているかなど注視していくとともに、助言・指導等を行っていく必要がある。 ○建設から24年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。 ○平成29年度の利用率は78.5%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者との連携を密に安定的な運営が図れるよう支援していく。 ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。 					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-05		
施設名	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住四丁目9番6号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成12年	400,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設					
竣工年月日	平成12年2月28日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成12年4月1日	職員数	15	2	
構造	R C造	階層	地上2階		
面積	敷地面積	1,167.78㎡(都有地)			㎡
	延床面積	948.33㎡			㎡
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 聖風会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作 訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時50分から午後5時30分				
	休日	日曜日、1月1日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		86.4	78.1	72.7	73.4	75.0
	営業日数(日)	-	-	311	310	310
	通所介護:定員(人)	30	30	30	30	30
	指定管理者の支出合計(千円)	78,145	71,168	74,343	73,762	
	指定管理者の人件費(千円)	55,386	49,887	52,735	51,600	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

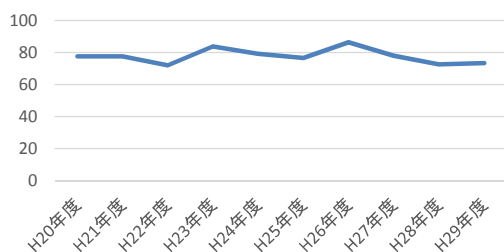
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,079	556	▲ 523	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	724	0	▲ 724	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	704	0	▲ 704	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	11,242	12,275	1,033	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,749	▲ 12,831	918
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 1,121	▲ 799	322
	行政費用合計(b)	13,749	12,831	▲ 918	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,870	▲ 13,630	1,240
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,870	▲ 13,630	1,240	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	17,348	17,614	266
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 39	▲ 81	▲ 42	特別区債	17,287	17,614	327
	有形固定資産	225,249	214,007	▲ 11,242	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	61	0	▲ 61
	建物	416,357	416,357	0	固定負債	28,735	11,121	▲ 17,614
	建物減価償却累計額	▲ 191,108	▲ 202,349	▲ 11,241	特別区債	28,735	11,121	▲ 17,614
	工作物等	24,418	24,418	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 24,418	▲ 24,418	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	46,083	28,735	▲ 17,348
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	185,296	190,326	5,030	
その他の固定資産	6,169	5,135	▲ 1,034	正味財産の部合計	185,296	190,326	5,030	
資産の部合計	231,379	219,061	▲ 12,318	負債及び正味財産の部合計	231,379	219,061	▲ 12,318	
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に556千円かかっている。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	49	51.4	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	26	25.6	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	11,774	10,988	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	71	70.0	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	44,209	41,390	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,027	1,880	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して2,819円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80	80	75	75	75
	実績値	86	78	73	73	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建設から18年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成29年度の利用率は73.4%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。 					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-06		
施設名	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	南千住六丁目36番5号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年	200,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川				
竣工年月日	平成1年3月14日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成1年4月1日	職員数	19	1	
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階	
面積	敷地面積	2,283.18㎡			
	延床面積	696.53/4,198.50㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 聖風会	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時				
	休日	日曜日、1月1日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	営業日数(日)	80.4	73.9	62.7	64.6	75.0
	通所介護:定員(人)	-	-	311	310	310
	指定管理者の支出合計(千円)	40	40	40	40	40
	指定管理者の人件費(千円)	92,492	89,924	95,320	94,991	
	指定管理者の人件費(千円)	63,559	64,886	70,860	72,032	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

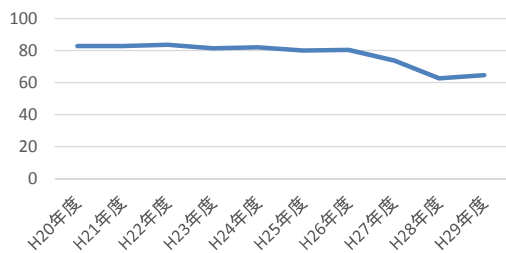
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	458	0	▲ 458	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,295	5,278	▲ 17	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,753	▲ 5,278	475
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	5,753	5,278	▲ 475	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,753	▲ 5,278	475
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,753	▲ 5,278	475	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	51,235	42,419	▲ 8,816	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	199,490	195,481	▲ 4,009	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 148,255	▲ 153,061	▲ 4,806	特別区債	0	0	0
	工作物等	1,369	0	▲ 1,369	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,369	0	1,369	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	51,235	42,419	▲ 8,816	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	51,235	42,419	▲ 8,816	
資産の部合計	51,235	42,419	▲ 8,816	負債及び正味財産の部合計	51,235	42,419	▲ 8,816	
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	75	74.5	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	35	34.9	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	8,260	7,578	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	74	75.8	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	18,498	17,026	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	738	659	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して55円増加しているが、これは今年度の開館日数が前年度より減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80	80	75	75	75
		実績値 80	74	63	65	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 平成19年度より委託から指定管理に変更) <input type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○建設から29年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。</p> <p>○平成29年度の利用率は64.6%で、十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要である。</p> <p>○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。</p> <p>○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。</p> <p>○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-07		
施設名	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	荒川一丁目34番6号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築 増改築① 増改築②	平成6年 600,000			
併設施設	荒川老人福祉センター				
竣工年月日	平成6年9月28日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成6年12月1日	職員数	15	5	
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階	
面積	敷地面積	777.68㎡			
	延床面積	968.45/2,021.17㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	33台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作 訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分				
	休日	日曜日、12月29日から1月3日				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	通所介護利用率(%)	76.4	86.4	78.9	80.6	80.0
	認知症対応型通所介護利用率(%)	34.6	36.5	36.1	49.2	40.0
	営業日数(日)	-	-	308	308	308
	通所介護:定員(人)	35	35	35	35	35
	認知症対応型通所介護:定員(人)	10	10	10	10	10
	指定管理者の支出合計(千円)	94,240	100,532	98,621	103,424	
	指定管理者の人件費(千円)	60,884	69,499	67,451	71,020	
に指定管理に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

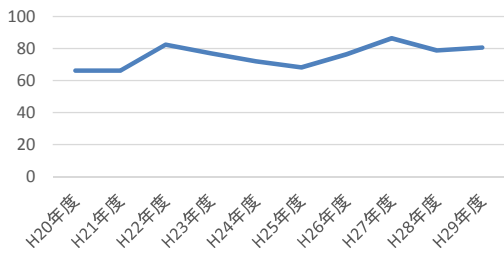
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,012	602	▲ 410	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	19,056	16,326	▲ 2,730	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 20,068	▲ 16,928	3,140
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	20,068	16,928	▲ 3,140	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 20,068	▲ 16,928	3,140
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	77,493	77,493
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	77,493	77,493	当期収支差額(e)+(h)	▲ 20,068	60,565	80,633	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	1	0	▲ 1
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 179	▲ 343	▲ 164	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	230,855	247,379	16,524	その他の流動負債	1	0	▲ 1
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	714,634	604,677	▲ 109,957	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 340,971	▲ 357,298	▲ 16,327	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	1	0	▲ 1
無形固定資産	0	0	0	正味財産	230,675	247,036	16,361	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	230,675	247,036	16,361	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	230,676	247,036	16,360	
資産の部合計	230,676	247,036	16,360					
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に602千円かかっている。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	68	59.1	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	31	37.0	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	20,722	17,479	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	68	68.7	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	65,156	54,961	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,359	1,948	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して10,195円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより、行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 76	80 86	75 79	75 81	80
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建設から24年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成29年度の利用率は80.6%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。 					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-08		
施設名	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	荒川五丁目47番2号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築 増改築① 増改築②	平成11年 500,000			
併設施設	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川				
竣工年月日	平成11年2月8日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成11年4月1日	職員数	12	0	
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階	
面積	敷地面積	1,585.62㎡			
	延床面積	870.42/3,840.47㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	若干数	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 上智社会事業団	期間	平成29年度 平成33年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作 訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時45分から午後5時45分				
	休日	土、日曜日 12月31日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		70.3	70.2	65.6	65.5	70.0
	営業日数(日)	-	-	259	257	252
	通所介護:定員(人)	40	40	40	40	40
	認知症対応型通所介護:定員(人) (認知は26年度末をもって廃止)	12	0	0	0	0
	指定管理者の支出合計(千円)	74,648	68,329	67,500	68,072	
	指定管理者の人件費(千円)	57,168	50,711	52,292	49,304	
に指定管理に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

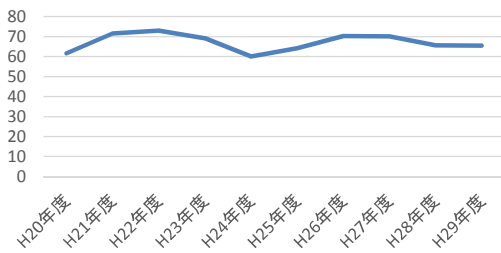
	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	0	0	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	0	0	都支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	
	減価償却費	13,972	13,972	0	0	0	その他	0	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,972	▲ 13,972	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 612	▲ 299	313	313	
	行政費用合計(b)	13,972	13,972	0	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,584	▲ 14,271	313	313	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,584	▲ 14,271	313	313		
貸借対照表	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	11,611	8,458	▲ 3,153	▲ 3,153	
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	11,611	8,458	▲ 3,153	▲ 3,153	
	固定資産	有形固定資産	265,987	252,015	▲ 13,972	▲ 13,972	賞与引当金	0	0	0	0	
		土地	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	
		建物	517,485	517,485	0	0	固定負債	8,458	0	▲ 8,458	▲ 8,458	
		建物減価償却累計額	▲ 251,498	▲ 265,470	▲ 13,972	▲ 13,972	特別区債	8,458	0	▲ 8,458	▲ 8,458	
		工作物等	0	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	20,069	8,458	▲ 11,611	▲ 11,611	
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	245,918	243,557	▲ 2,361	▲ 2,361		
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	245,918	243,557	▲ 2,361	▲ 2,361		
	資産の部合計	265,987	252,015	▲ 13,972	▲ 13,972	負債及び正味財産の部合計	265,987	252,015	▲ 13,972	▲ 13,972		
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。											

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	49	51.3	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	23	22.5	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	16,052	16,052	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	78	72.4	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	53,946	54,366	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,228	2,075	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して420円増加しているが、これは今年度の開館日数が前年度より減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 70	80 70	75 66	75 66	70
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他(平成19年度より委託から指定管理に変更)					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○建設から19年経過し、施設設備等老朽化が進んでおり、併設である入所施設と調整の上、計画的に改修を実施する必要がある。</p> <p>○平成29年度の利用率は65.5%で十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要がある。</p> <p>○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。</p> <p>○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。</p> <p>○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-09		
施設名	町屋在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	町屋七丁目2番15号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成5年	500,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	区営町屋七丁目住宅				
竣工年月日	平成5年2月16日		常勤・非常勤	22	
供用開始年月日	平成5年3月23日		職員数	0	
構造	SRC造		階層	地上8階 地下1階	
面積	敷地面積	580.46㎡			
	延床面積	912.17/2,131.88㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 聖風会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作 訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時50分から午後5時30分				
	休日	日曜日、1月1日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		80.7	78.0	78.0	67.0	75.0
	営業日数(日)	—	—	311	310	310
	通所介護:定員(人)	40	40	40	40	40
	指定管理者の支出合計(千円)	106,697	107,354	108,157	103,765	
	指定管理者の人件費(千円)	75,401	77,415	79,448	71,629	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

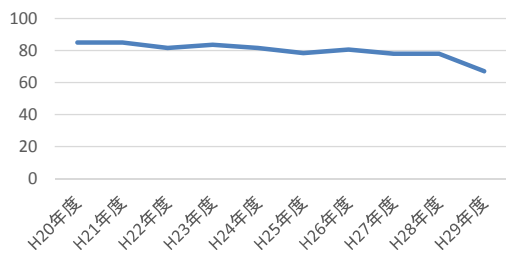
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目		H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0
	物件費	3,928	3,413	▲ 515	国庫支出金	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0
	減価償却費	13,958	13,406	▲ 552	その他	0	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 17,886	▲ 16,819	1,067	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 266	▲ 261	5	
	行政費用合計(b)	17,886	16,819	▲ 1,067	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 18,152	▲ 17,080	1,072	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 18,152	▲ 17,080	1,072		
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産				流動負債	3,046	3,068	22	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	3,046	3,068	22	
	その他の流動資産	▲ 180	▲ 316	▲ 136	賞与引当金	0	0	0	0
	有形固定資産	723,773	710,367	▲ 13,406	その他の流動負債	0	0	0	0
	土地	549,000	549,000	0	固定負債	34,954	31,886	▲ 3,068	
	建物	496,514	496,514	0	特別区債	34,954	31,886	▲ 3,068	
	建物減価償却累計額	▲ 321,741	▲ 335,147	▲ 13,406	退職給与引当金	0	0	0	0
	工作物等	30,290	11,425	▲ 18,865	その他の固定負債	0	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 30,290	▲ 11,424	18,866	負債の部合計	38,000	34,954	▲ 3,046	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	687,803	676,755	▲ 11,048		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	687,803	676,755	▲ 11,048		
その他の固定資産	2,210	1,658	▲ 552	負債及び正味財産の部合計	725,803	711,709	▲ 14,094		
資産の部合計	725,803	711,709	▲ 14,094						
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に3,413千円かかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	67	68.2	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	34.0	31.6	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	19,608	18,438	
	人にかかるの割合(指定管理)(%)	-	-	74	69.0	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	57,511	54,255	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	1,843	2,024	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して1,476円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 81	80 78	75 78	75 67	75
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○建設から25年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成29年度の利用率は67%で十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要がある。</p> <p>○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。</p> <p>○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。</p> <p>○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-10		
施設名	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	西尾久六丁目17番3号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成6年	700,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	尾久生活実習所				
竣工年月日	平成6年11月7日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成7年4月1日	職員数	13	9	
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階	
面積	敷地面積	1,489.14㎡			
	延床面積	1,072.23/2,224.64㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分				
	休日	日曜日、12月29日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	認知症対応型通所介護利用率(%)	67.8	84.0	83.3	82.9	80.0
	営業日数(日)	20.7	21.0	17.5	16.2	15.0
	通所介護:定員(人)	-	-	308	308	308
	認知症対応型通所介護:定員(人)	35	35	35	35	35
	指定管理者の支出合計(千円)	10	10	10	10	10
	指定管理者の人件費(千円)	93,208	93,166	94,700	91,653	
		60,661	61,277	60,805	60,693	
に指定管理に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

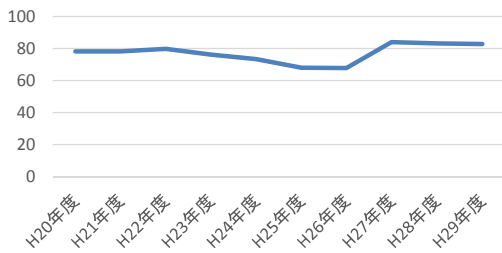
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	969	618	▲ 351	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	18,969	18,969	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 19,938	▲ 19,587	351
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 40	▲ 49	▲ 9
	行政費用合計(b)	19,938	19,587	▲ 351	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 19,978	▲ 19,636	342
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 19,978	▲ 19,636	342
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	17	0	▲ 17
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 163	▲ 338	▲ 175	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	285,242	266,273	▲ 18,969	その他の流動負債	17	0	▲ 17
	土地	0	0	0	固定負債	49,000	49,000	0
	建物	702,567	702,567	0	特別区債	49,000	49,000	0
	建物減価償却累計額	▲ 417,325	▲ 436,294	▲ 18,969	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	49,017	49,000	▲ 17
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	236,062	216,935	▲ 19,127
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	236,062	216,935	▲ 19,127	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	285,079	265,935	▲ 19,144	
資産の部合計	285,079	265,935	▲ 19,144					
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に618千円かかっている。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	59	59.4	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	28	27.5	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	18,595	18,268	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	64	66.2	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	64,734	63,594	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,220	2,192	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して1,140円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 68	80 84	75 83	75 83	80
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○建設から24年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成29年度の利用率は82.9%と良好である。引き続き利用率の維持もしくは低下しないようにする必要がある。</p> <p>○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。</p> <p>○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。</p> <p>○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-11		
施設名	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター				
所在地	東日暮里三丁目8番16号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成6年	800,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	作業所ボンエルフ				
竣工年月日	平成6年8月8日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成6年11月1日	職員数	26	0	
構造	RC造	階層	地上3階	地下1階	
面積	敷地面積	1,010.54㎡			
	延床面積	1,124.87/2,038.53㎡			
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 東京都福祉事業協会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後6時15分				
	休日	日曜日、祝日、12月29日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	認知症対応型通所介護利用率(%)	64.2	64.9	62.6	59.1	70.0
	営業日数(日)	29.6	25.3	23.8	31.8	30.0
	通所介護:定員(人)	-	-	293	293	293
	認知症対応型通所介護:定員(人)	40	40	40	40	40
	指定管理者の支出合計(千円)	12	12	12	12	12
	指定管理者の人件費(千円)	107,929	108,234	107,389	112,649	
	指定管理者の人件費(千円)	80,010	81,627	83,101	84,249	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

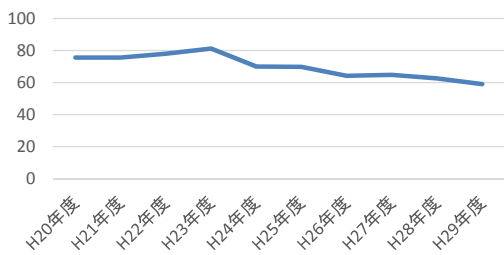
	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	0		0	0	地方税等	0
	物件費	957	920	▲ 37	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	20,347	20,347	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 21,304	▲ 21,267	37	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	21,304	21,267	▲ 37	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 21,304	▲ 21,267	37	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 21,304	▲ 21,267	37	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	50	0	▲ 50
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	▲ 50	▲ 81	▲ 31	特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	327,437	307,090	▲ 20,347	賞与引当金	0	0	0
		土地	21,474	21,474	0	その他の流動負債	50	0	▲ 50
		建物	753,604	753,604	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 447,641	▲ 467,988	▲ 20,347	特別区債	0	0	0
		工作物等	18,748	18,748	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 18,748	▲ 18,748	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	50	0	▲ 50		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	327,337	307,009	▲ 20,328		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	327,337	307,009	▲ 20,328		
資産の部合計	327,387	307,009	▲ 20,378	負債及び正味財産の部合計	327,387	307,009	▲ 20,378		
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」等の介護保険外事業に係る業務委託料に466千円、食器消毒保管庫の備品購入費用に454千円かかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	60	63.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	29	29.3	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	18,939	18,906	
	人に対するコストの割合(指定管理)(%)	-	-	77	74.8	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	72,710	72,584	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,904	3,070	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して126円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80 実績値 64	80 65	75 63	75 59	70
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建設から24年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成29年度の利用率は59.1%で十分な利用率とは言えず、利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。 					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-12	
施設名	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター			
所在地	西日暮里五丁目36番1号			
部署名	福祉部福祉推進課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
	建築	平成2年	250,000	国・都
	増改築① 増改築②			区債
併設施設			一般財源	
竣工年月日	平成2年12月19日		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成3年2月1日	職員数	29	0
構造	RC造	階層	地上4階	地下1階
面積	敷地面積	248.69㎡		
	延床面積	679.24㎡		
設置目的・経緯	在宅の虚弱又は機能障害のある高齢者が寝たきりにならないようきめ細やかなサービスを実施。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	老人福祉法・介護保険法・荒川区立在宅高齢者通所サービスセンター条例及び規則			
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 聖風会	期間	平成26年度 平成30年度	から まで	
事業内容	① 日常生活の上で必要な介護サービスの提供 ② 身体機能の維持向上のための機能訓練 ③ 健康管理に関すること ④ 趣味・生きがい活動 ⑤ 自立した日常生活を送るための日常動作訓練 ⑥ 送迎・入浴サービスの提供 ⑦ 利用者及びその家族からの相談受付、指導・助言					
対象者	介護保険法に定める利用基準に該当する者					
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後5時30分				
	休日	日曜日、1月1日から1月3日				
施設基本データ等	通所介護利用率(%)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	営業日数(日)	82.1	75.4	76.4	75.3	75.0
	通所介護:定員(人)	-	-	311	310	310
	指定管理者の支出合計(千円)	40	40	40	40	40
	指定管理者の人件費(千円)	107,235	107,060	116,779	112,040	
		72,639	78,171	87,697	79,898	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

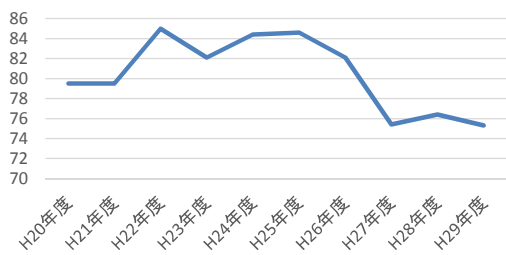
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目		H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0
	物件費	4,317	2,782	▲ 1,535	国庫支出金	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0
	減価償却費	6,624	6,624	0	その他	0	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 10,941	▲ 9,406	1,535	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0
	行政費用合計(b)	10,941	9,406	▲ 1,535	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 10,941	▲ 9,406	1,535	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 10,941	▲ 9,406	1,535		
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産				流動負債	33	0	▲ 33	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 147	▲ 219	▲ 72	賞与引当金	0	0	0	0
	有形固定資産	130,986	124,362	▲ 6,624	その他の流動負債	33	0	▲ 33	
	土地	57,876	57,876	0	固定負債	0	0	0	0
	建物	245,336	245,336	0	特別区債	0	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 172,226	▲ 178,850	▲ 6,624	退職給与引当金	0	0	0	0
	工作物等	2,569	2,569	0	その他の固定負債	0	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 2,569	▲ 2,569	0	負債の部合計	33	0	▲ 33	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	130,806	129,473	▲ 1,333		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	130,806	129,473	▲ 1,333		
その他の固定資産	0	5,330	5,330	負債及び正味財産の部合計	130,839	129,473	▲ 1,366		
資産の部合計	130,839	129,473	▲ 1,366						
備考	介護保険制度により、指定管理料は支出していない。物件費には、「地域交流事業」「ボランティア活動支援事業」「家族介護者教室」等の介護保険外事業に係る業務委託料に2,782千円かかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	71	73.2	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	33	33.2	
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	16,108	13,848	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	75	71.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	35,180	30,342	
	延べ利用者1人当たりコスト(円)	-	-	1,151	1,007	
評価指標等						
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して4,838円減少しているが、これは3年に1度の建築物法定点検及び外壁点検を前年度に実施したことにより行政費用が減少したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用率(通所介護)	目標値 80	80	75	75	75
	実績値	82	75	76	75	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建設から28年経過し、施設設備等の老朽化が進んでいる。 ○平成29年度の利用率は75.3%と良好である。低下傾向にある利用率を向上させるための改善が必要である。 ○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。 					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮し、施設の機能、性能の保全に努めながら計画的に改修を実施する。 ○利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、さらなる周知を図っていく。 ○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。 					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-13		
施設名	老人福祉センター				
所在地	荒川一丁目34番6号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成6年	600,000	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター				
竣工年月日	平成6年9月28日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成6年12月1日	職員数	12	2	
構造	RC造	階層	地上4階地下1階		
面積	敷地面積	777.68㎡			
	延床面積	1,052.72/2,021.17㎡			
設置目的・経緯	高齢者が住み慣れた地域の中で教養を高め、明るく豊かな高齢期を過ごすことができるようにする。				
関連部署	高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川老人福祉センター条例・施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	33台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会	期間	平成26年度	から	
				平成30年度	まで	
事業内容	①生活相談(介護・福祉・就労等、生活全般の相談) ②健康審査・相談(嘱託医による問診・血圧測定などの健康審査) ③機能訓練(脳卒中などによる後遺症や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象) ④入浴サービス ⑤各種行事 ⑥各種教室・定例事業 ⑦いこい室事業 ⑧介護予防事業					
対象者	満60歳以上の方					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後5時 施設を団体の利用に供する場合午前9時から午後10時				
	休日	日曜日(事業実施による開館日を除く) 祝日(敬老の日を除く) 年末年始(12月29日から1月3日。1月1日を除く)				
施設基本データ等	入館者数(人)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	新規登録者数(人)	43,614	47,345	45,948	45,845	46,000
	開所日数(日)	570	622	515	562	570
		273	297	296	296	296
に指定管理 用等管理 費	指定管理料(千円)	61,870	55,498	67,755	70,109	
	指定管理者の支出合計(千円)	61,870	55,498	67,755	70,109	
	指定管理者の人件費(千円)	37,028	38,857	44,189	44,600	
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

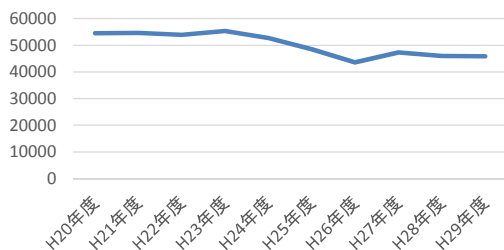
	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	0		0	0	地方税等	0
	物件費	67,755	70,109	2,354	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	481	481	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	2	6	4	
	減価償却費	17,353	17,744	391	その他	120	118	▲2	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	603	605	2	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲84,505	▲87,248	▲2,743	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	85,108	87,853	2,745	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲84,505	▲87,248	▲2,743	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	84,221	84,221	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	84,221	84,221	当期収支差額(e)+(h)	▲84,505	▲3,027	81,478	
貸借対照表	流動資産	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	▲5,928	▲15,049	▲9,121	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	226,889	293,366	66,477	賞与引当金	0	0	0
		土地	24,485	24,485	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	657,197	657,197	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲370,572	▲388,316	▲17,744	特別区債	0	0	0
		工作物等	13,510	13,510	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲13,510	▲13,510	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	225,487	282,334	56,847	
	その他の固定資産	4,526	4,017	▲509	正味財産の部合計	225,487	282,334	56,847	
	資産の部合計	225,487	282,334	56,847	負債及び正味財産の部合計	225,487	282,334	56,847	
備考	物件費は、指定管理料として70,109千円を支出している。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	70	59.9	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	33	33.4	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	80,847	83,453	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	70.0	63.6	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	287,530	296,801	
	入館者1人当たりコスト(円)	-	-	1,852	1,916	
備考	開館1日当たりコストが前年度と比較して10,990円増加しているが、これは介護予防事業の実施回数の増加に伴い、指定管理委託料も増加したためである。					

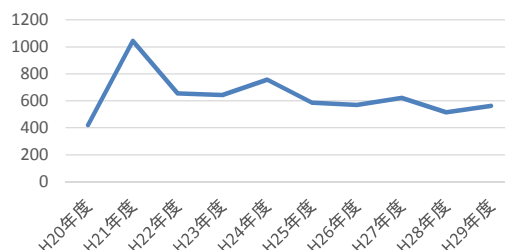
IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	延べ利用者数	実績値	68,000	69,000	69,000	70,000	71,000
施設運営の方向性	● 現状維持 ○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止						
	● 有 (変更内容: 平成18年度より委託から指定管理に変更) ○ 無						
管理形態の変更の推移							
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○介護予防に重点を置いた事業の新たな展開や啓発方法を発展させる必要がある。</p> <p>○各種教室については、利用状況等を確認しながら内容を更新するとともに、入館者数の増加に伴い、それぞれの年齢層に応じた事業展開を検討する必要がある。</p> <p>○建設から24年が経過し、給排水設備等の施設の老朽化が目立ってきている。</p> <p>○福祉避難所として、災害時に備えた備蓄品等を整備している。支援訓練等は引き続き実施していく必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○介護予防に特化したプログラムを実施するとともに、高齢者福祉課と連携し事業の整理充実強化に努める。</p> <p>○それぞれの年齢層に応じた教室・講座等を実施するよう取り組む。</p> <p>○各設備の改修を計画的に実施していく。</p> <p>○福祉避難所の備蓄品等の更新を行うとともに、より実践に近い訓練を実施していく。</p>						
議会、利用者等からの意見							

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-14		
施設名	福祉部分室				
所在地	南千住一丁目13番20号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和47年	40,000	国・都	区債
	増改築①	昭和57年	50,000		一般財源
併設施設					
竣工年月日	昭和47年3月9日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成12年2月1日	職員数	20人・38人	臨時25人	
構造	RC造	階層	地上3階		
面積	敷地面積	274.50㎡			
	延床面積	762.78㎡			
設置目的・経緯	南千住図書館と南千住第三幼稚園舎。2000年2月1日に南千住図書館と南千住第三幼稚園の一部を福祉部分室に用途変更。				
関連部署	教育施設課				
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	10台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	行政財産使用許可によって荒川区社会福祉協議会に福祉部分室の使用を許可しており、荒川区社会福祉協議会本部として使用している。 福祉部分室は、南千住第三幼稚園と併設しているため、その管理費は教育委員会と協議して支出する。					
対象者	区内在住・在勤・在学の方					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		26,100	25,100	24,000	25,000	25,000
	社協会員数(個人)	3,226	3,150	3,025	2,908	3,030
	社協会員数(団体)	136	143	132	141	140
	ボランティア登録数	1,121	7,396	7,691	8,421	7,800
に指定 用等 管理 費理						
備考	平成27年度からボランティア登録数のカウント方法を団体数から団体加入者数に変更。					

III 財務諸表

(単位:千円)

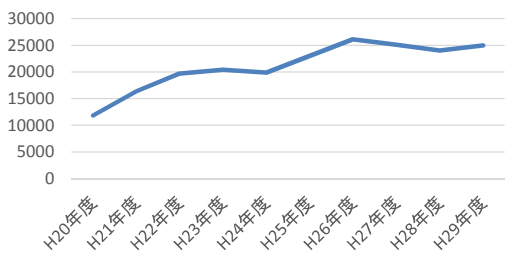
勘定科目		H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	3,348	3,535	187	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	531	706	175	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,793	2,793	0	その他	2,223	2,464	241
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,223	2,464	241
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,449	▲ 4,570	▲ 121
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6,672	7,034	362	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,449	▲ 4,570	▲ 121
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,449	▲ 4,570	▲ 121	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	55,970	53,176	▲ 2,794	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	103,456	103,456	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 47,486	▲ 50,280	▲ 2,794	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	55,970	53,176	▲ 2,794	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	55,970	53,176	▲ 2,794	
資産の部合計	55,970	53,176	▲ 2,794	負債及び正味財産の部合計	55,970	53,176	▲ 2,794	
備考	行政費用では、物件費が多く占めている。内訳は、委託料(設備保守点検等)1,071千円、光熱水費2,464千円。光熱水費支出分2,464千円は、社会福祉協議会の負担分として収入している。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却(%)	-	-	46	48.6	
	有形固定資産減価償却(80年)(%)	-	-	32	32.1	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	8,747	9,223	
	光熱水費	2,835	2,620	2,223	2,464	
備考	1㎡当たりコストが前年度と比較して476円上昇しているが、これは物件費(光熱水費)及び維持補修費(家屋等修繕費)の増によるものである。					

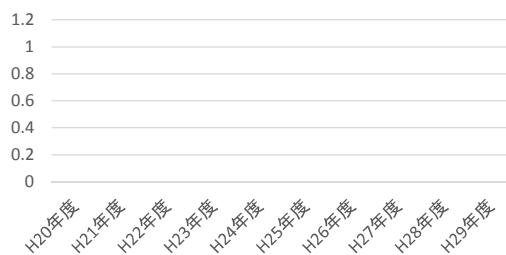
IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ● 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
		目標値 実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 平成12年2月より教育委員会より引き継ぎ) <input type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○昭和47年に建てられた建物であるため、老朽化が進んでいる。また、南千住第三幼稚園と併設している。					
課題に対する現時点での考え	○改修の際は、併設の南千住第三幼稚園を管理している教育委員会と調整、検討を行いつつ、必要な修繕を行っていく。					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-15		
施設名	西尾久七丁目住宅				
所在地	西尾久七丁目19番11号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築 増改築① 増改築②	借上型	国・都	区債	一般財源
	併設施設				
竣工年月日	平成4年4月21日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成4年4月28日	職員数	1		
構造	RC造	階層	地上7階(借上部分1~6階)		
面積	敷地面積	507.04㎡			
	延床面積	1,020.66㎡/1572.47㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	東京都住宅供給公社	期間	平成30年4月1日 平成35年3月31日	から まで	
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附属施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。					
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間				
	休日	なし				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	単身用住戸(戸)	29	29	29	29	29
	世帯用住戸(戸)	5	5	5	5	5
	入居率(%)	100	100	100	100	100
	申込み倍率(倍)	8	7	8	8	8
	単身入居数(世帯)	3	1	1	3	2
	世帯入居数(世帯)	0	0	2	0	1
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	26,576	27,141	20,840	23,198	18,526
	指定管理者の支出合計(千円)	25,355	24,462	18,664	18,363	18,526
	指定管理者の人件費(千円)	0	0	0	0	0
備考						

III 財務諸表

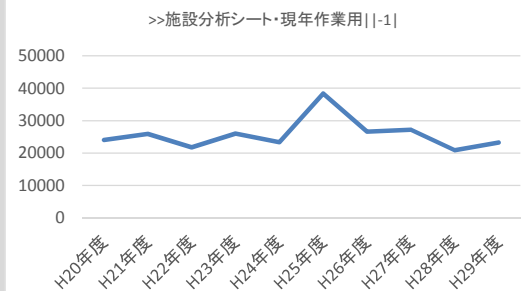
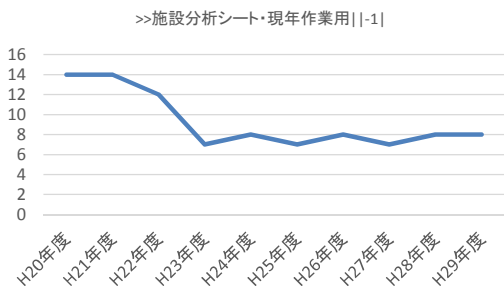
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	H28年度	H29年度	差額		H28年度	H29年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	0	3,769	3,769	地方税等	0	0	0
	物件費	40,640	37,018	▲ 3,622	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	600	600	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	923	925	2	使用料及び手数料	5,673	5,674	1
	減価償却費	0	0	0	その他	35,071	1,475	▲ 33,596
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	41,344	7,749	▲ 33,595
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	370	370	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 219	▲ 34,333	▲ 34,114
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	41,563	42,082	519	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 219	▲ 34,333	▲ 34,114
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 219	▲ 34,333	▲ 34,114	
貸借対照表	流動資産	230	230	0	流動負債	0	▲ 1,863	▲ 1,863
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	0	190	190
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	▲ 2,053	▲ 2,053
	建物	0	0	0	固定負債	0	2,770	2,770
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	2,770	2,770
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	907	907
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	230	▲ 677	▲ 907
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	230	▲ 677	▲ 907	
資産の部合計	230	230	0	負債及び正味財産の部合計	230	230	0	
備考	行政費用では、物件費が37,018千円を占めており、内訳として、借上料に33,864千円、指定管理料に3,676千円を支出している。行政収入では、使用料及び手数料で5,674千円の収入があった。							

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	-
1㎡当たりコスト(円)	-	-	40,722	41,230	-
受益者負担比率(%)	-	-	12	13.5	-
1部屋当たりコスト(円)	-	-	1,222,441	1,237,706	-
財務指標・評価指標等					
備考	受益者負担比率とは、住宅にかかる行政費用に対する、入居者の負担する使用料及び共益費が占める割合である。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	入居率(%)	100	100	100	100	100
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○空室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。</p> <p>○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増加傾向にある。</p> <p>○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-16		
施設名	町屋七丁目住宅				
所在地	町屋七丁目2番15号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	700,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設	町屋在宅高齢者通所サービスセンター				
竣工年月日	平成5年2月15日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年4月1日	職員数	1		
構造	SRC造		階層	地上8階、地下1階	
面積	敷地面積	580.46㎡			
	延床面積	1,219.71㎡/2,131.88㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	東京都住宅供給公社	期間	平成30年4月1日 平成35年3月31日	から まで	
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区が建設した住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。					
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間				
	休日	なし				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	単身用戸(戸)	20	20	20	20	20
	世帯用戸(戸)	3	3	3	3	3
	入居率(%)	100	100	100	100	100
	申込み倍率(倍)	8	7	8	8	8
	単身入居数(世帯)	0	0	2	0	1
	世帯入居数(世帯)	0	1	0	0	1
に指定管理 等管理 費用	指定管理料(千円)	26,576	27,141	20,840	23,198	18,526
	指定管理者の支出合計(千円)	25,355	24,462	18,664	18,363	18,526
	指定管理者の人件費(千円)	0	0	0	0	0
備考						

III 財務諸表

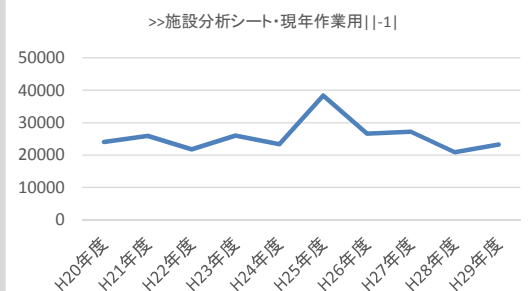
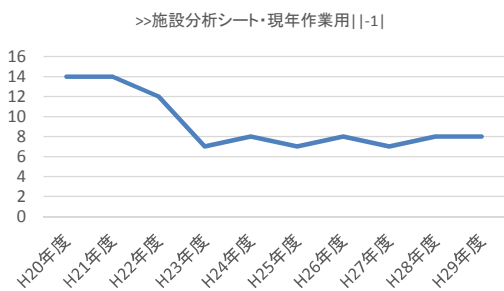
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目				
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	0	3,769	3,769	地方税等	0	0	0
	物件費	5,840	5,738	▲102	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	600	600	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	4,275	4,159	▲116
	減価償却費	14,598	14,598	0	その他	723	700	▲23
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,598	5,459	▲139
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	370	370	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲14,840	▲19,016	▲4,176
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲1,704	▲572	1,132
	行政費用合計(b)	20,438	24,475	4,037	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲16,544	▲19,588	▲3,044
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲16,544	▲19,588	▲3,044	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
	流動資産			流動負債				
	収入未済	0	0	0	17,280	▲1,069	▲18,349	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	17,280	▲17,280	
	有形固定資産	313,203	298,604	▲14,599	賞与引当金	0	190	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	▲1,259	▲1,259
	建物	663,565	663,565	0	固定負債	0	2,770	2,770
	建物減価償却累計額	▲350,362	▲364,961	▲14,599	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	2,770	2,770
工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	17,280	1,701	▲15,579	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	295,923	296,903	980	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	295,923	296,903	980	
資産の部合計	313,203	298,604	▲14,599	負債及び正味財産の部合計	313,203	298,604	▲14,599	
備考	行政費用では、物件費が5,738千円を占めており、内訳として、指定管理料に2,135千円、その他委託料として3,603千円を支出している。行政収入では、使用料及び手数料で4,159千円の収入があった。							

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率 (%)	-	-	53	55.0	
有形固定資産減価償却率 (80年) (%)	-	-	30.0	30.0	
1㎡当たりコスト (円)	-	-	18,448	20,066	
受益者負担比率 (%)	-	-	19.0	17.0	
1部屋当たりコスト (円)	-	-	888,608	1,064,130	
財務指標・評価指標等					
備考	受益者負担比率とは、住宅にかかる行政費用に対する、入居者の負担する使用料及び共益費が占める割合である。				

IV 施設運営の方向性 (所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	入居率 (%)	100	100	100	100	100
施設運営の方向性	● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○空室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。</p> <p>○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増加傾向にある。</p> <p>○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者住宅のあり方を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-17		
施設名	西尾久三丁目住宅				
所在地	西尾久三丁目21番12号				
部課名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成5年	借上型	国・都	区債
	増改築① 増改築②				一般財源
併設施設	-				
竣工年月日	平成5年7月8日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年7月29日	職員数	1		
構造	SRC造	階層	地上9階(借上部分3~8階)		
面積	敷地面積	668.64㎡			
	延床面積	1,255.49㎡/2604.49㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	東京都住宅供給公社	期間	平成30年4月1日 平成35年3月31日	から まで	
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附属施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。					
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間				
	休日	なし				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	単身用住戸(戸)	34	34	34	34	34
	世帯用住戸(戸)	5	5	5	5	5
	入居率(%)	100	100	100	100	100
	申込み倍率(倍)	8	7	8	8	8
	単身入居数(世帯)	2	1	1	5	2
	世帯入居数(世帯)	0	1	0	0	1
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	26,576	27,141	20,840	23,198	18,526
	指定管理者の支出合計(千円)	25,355	24,462	18,664	18,363	18,526
	指定管理者の人件費(千円)	0	0	0	0	0
備考						

III 財務諸表

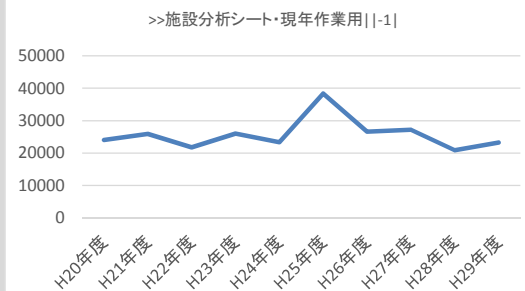
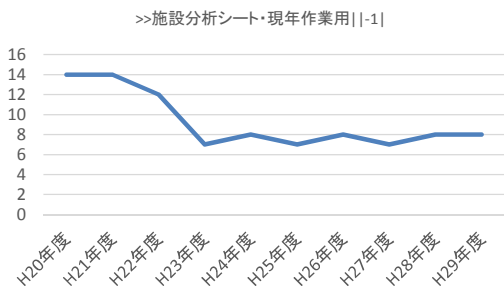
(単位:千円)

	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	51,954	52,025	71	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	0	0	都支支出金	600	600	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	2,131	1,862	▲ 269	0	0	使用料及び手数料	6,824	6,443	▲ 381	0	
	減価償却費	0	0	0	0	0	その他	1,642	1,556	▲ 86	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	9,066	8,599	▲ 467	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 45,019	▲ 45,288	▲ 269	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	54,085	53,887	▲ 198	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 45,019	▲ 45,288	▲ 269	0	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 45,019	▲ 45,288	▲ 269	0		
貸借対照表	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	流動資産	収入未済	165	182	17	流動負債	0	▲ 1,048	▲ 1,048	0	▲ 1,048	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	
	有形固定資産	0	0	0	0		賞与引当金	0	0	0	0	
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	▲ 1,048	▲ 1,048	0	
		建物	0	0	0		固定負債	0	0	0	0	
		建物減価償却累計額	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	0	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	0	▲ 1,048	▲ 1,048	0		
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	165	1,230	1,065	0		
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	165	1,230	1,065	0		
資産の部合計	165	182	17		負債及び正味財産の部合計	165	182	17				
備考	行政費用では、物件費が52,025千円を占めており、主な内訳として、借上料に45,240千円、指定管理料に5,791千円を支出している。行政収入では、使用料及び手数料で6,443千円の収入があった。											

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	-
1㎡当たりコスト(円)	-	-	46,515	42,921	-
受益者負担比率(%)	-	-	12	12.0	-
1部屋当たりコスト(円)	-	-	1,386,795	1,381,718	-
財務指標・評価指標等					
備考	受益者負担比率とは、住宅にかかる行政費用に対する、入居者の負担する使用料及び共益費が占める割合である。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	入居率(%)	実績値	100	100	100	100	100
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。</p> <p>○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増加傾向にある。</p> <p>○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-01-18			
施設名	南千住二丁目住宅					
所在地	南千住二丁目32番3号					
部署名	福祉部福祉推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成5年	借上型	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成5年5月12日		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成5年5月21日		職員数	1		
構造	RC造		階層	地上8階		
面積	敷地面積		224.59㎡			
	延床面積		692.12㎡/946.38㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱					
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	東京都住宅供給公社	期間	平成30年4月1日	から	平成35年3月31日	まで
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、借り上げた住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附属施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。						
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者						
運営時間等	運営時間	24時間					
	休日	なし					
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)	
	単身用住戸(戸)	12	12	12	12	12	
	世帯用住戸(戸)	6	6	6	6	6	
	入居率(%)	100	100	100	100	100	
	申込み倍率(倍)	8	7	8	8	8	
	単身入居数(世帯)	0	1	1	0	1	
	世帯入居数(世帯)	1	0	0	0	1	
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料(千円)	26,576	27,141	20,840	23,198	18,526	
	指定管理者の支出合計(千円)	25,355	24,462	18,664	18,363	18,526	
	指定管理者の人件費(千円)	0	0	0	0	0	
備考							

III 財務諸表

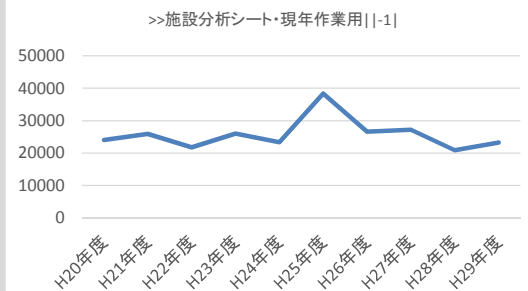
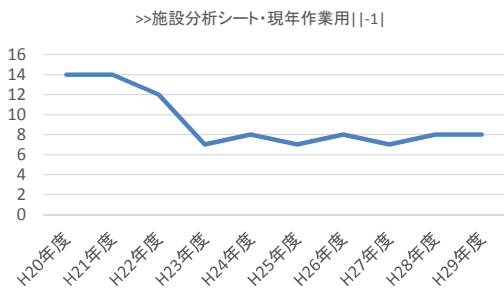
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目			
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	
	物件費	30,940	31,424	484	0	0	
	維持補修費	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	600	600	
	補助費等	1,854	1,039	▲ 815	0	0	
	減価償却費	0	0	0	3,764	3,833	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	572	575	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	4,936	5,008	
	その他行政費用	0	0	0	▲ 27,858	▲ 27,455	
	行政費用合計(b)	32,794	32,463	▲ 331	▲ 27,858	▲ 27,455	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲ 27,858	▲ 27,455		
				▲ 27,858	▲ 27,455		
貸借対照表	流動資産	18	18	0	0	▲ 775	
	不納欠損引当金	0	0	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	0	0	
	有形固定資産	0	0	0	0	0	
	土地	0	0	0	0	▲ 775	
	建物	0	0	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	0	▲ 775	
	建設仮勘定	0	0	0	18	793	
その他の固定資産	0	0	0	18	793		
資産の部合計	18	18	0	18	18		
流動負債	0	▲ 775	▲ 775	0	0		
還付未済金	0	0	0	0	0		
特別区債	0	0	0	0	0		
賞与引当金	0	0	0	0	0		
その他の流動負債	0	▲ 775	▲ 775	0	0		
固定負債	0	0	0	0	0		
特別区債	0	0	0	0	0		
退職給与引当金	0	0	0	0	0		
その他の固定負債	0	0	0	0	0		
負債の部合計	0	▲ 775	▲ 775	0	▲ 775		
正味財産	18	793	775	18	793		
正味財産の部合計	18	793	775	18	793		
負債及び正味財産の部合計	18	18	0	18	18		
備考	行政費用では、物件費が31,424千円を占めており、主な内訳として、借上料に26,532千円、指定管理料に3,219千円を支出している。行政収入では、使用料及び手数料で3,833千円の収入があった。						

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率 (%)	-	-	-	-	-
有形固定資産減価償却率 (80年) (%)	-	-	-	-	-
1㎡当たりコスト (円)	-	-	51,124	46,904	-
受益者負担比率 (%)	-	-	11	11.8	-
1部屋当たりコスト (円)	-	-	1,821,888	1,803,500	-
財務指標・評価指標等					
備考	受益者負担比率とは、住宅にかかる行政費用に対する、入居者の負担する使用料及び共益費が占める割合である。				

IV 施設運営の方向性 (所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	入居率 (%)	実績値	100	100	100	100	100
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。</p> <p>○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増加傾向にある。</p> <p>○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者向け借上げ住宅の契約内容も含めて、高齢者住宅のあり方を検討していく。						
議会、利用者等からの意見							



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	508-01-19		
施設名	町屋五丁目住宅（区営）				
所在地	町屋五丁目9番2号				
部署名	福祉部福祉推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位：千円)	財源内容（単位：千円）		
	建築	900,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設	町屋五丁目住宅（区民）				
竣工年月日	平成10年3月31日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日	職員数	1		
構造	RC造	階層	地上22階、地下1階		
面積	敷地面積	4,990.61㎡			
	延床面積	2,934.06㎡/16,971.19㎡			
設置目的・経緯	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区営住宅として管理運営する。				
関連部署	施設管理課				
根拠法令等 設置条例	公営住宅法及び同施行令、区営住宅条例及び施行規則、東京都シルバーピア事業運営要綱				
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	東京都住宅供給公社	期間	平成30年4月1日 平成35年3月31日	から まで	
事業内容	住宅に困窮する低所得高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、区が建設した住宅を区営住宅として管理運営する。指定管理者は、区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務のほか、区長が必要と認める業務を実施する。					
対象者	住宅に困窮する高齢者で、申込要件に該当する者					
運営時間等	運営時間	24時間				
	休日	なし				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）
	単身用住戸（戸）	21	21	21	21	21
	世帯用住戸（戸）	8	8	8	8	8
	入居率（％）	100	100	100	100	100
	申込み倍率（倍）	8	7	8	8	8
	単身入居数（世帯）	0	1	1	0	1
	世帯入居数（世帯）	0	0	1	1	1
に指定管理 等に係る 費用	指定管理料（千円）	26,576	27,141	20,840	23,198	18,526
	指定管理者の支出合計（千円）	25,355	24,462	18,664	18,363	18,526
	指定管理者の人件費（千円）	0	0	0	0	0
備考						

III 財務諸表

(単位：千円)

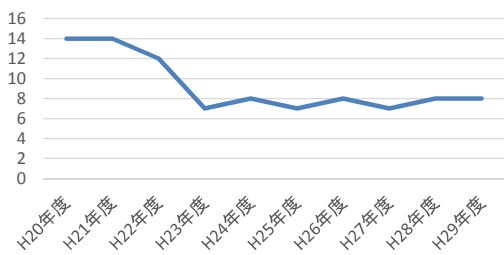
	勘定科目			勘定科目				
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	0	3,769	3,769	地方税等	0	0	0
	物件費	6,580	3,587	▲ 2,993	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	600	600	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,503	4,365	▲ 138	使用料及び手数料	7,222	7,596	374
	減価償却費	20,325	20,325	0	その他	809	858	49
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,631	9,054	423
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	370	370	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 22,777	▲ 23,362	▲ 585
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 1,496	▲ 1,267	229
	行政費用合計(b)	31,408	32,416	1,008	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 24,273	▲ 24,629	▲ 356
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 24,273	▲ 24,629	▲ 356	
貸借対照表	勘定科目			勘定科目				
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
	流動資産	238	162	▲ 76	流動負債	10,169	9,781	▲ 388
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	10,169	10,404	235
	有形固定資産	537,684	517,359	▲ 20,325	賞与引当金	0	190	190
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	▲ 813	▲ 813
	建物	923,855	923,855	0	固定負債	49,525	41,890	▲ 7,635
	建物減価償却累計額	▲ 386,172	▲ 406,496	▲ 20,324	特別区債	49,525	39,120	▲ 10,405
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	2,770	2,770
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	59,694	51,671	▲ 8,023	
建設仮勘定	0	943	943	正味財産	478,228	466,793	▲ 11,435	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	478,228	466,793	▲ 11,435	
資産の部合計	537,922	518,464	▲ 19,458	負債及び正味財産の部合計	537,922	518,464	▲ 19,458	
備考	行政費用では、物件費が3,587千円を占めており、主な内訳として、指定管理料に3,541千円を支出している。 行政収入では、使用料及び手数料で7,596千円の収入があった。							

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	42	44.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	24	24.4	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	10,705	11,048	
	受益者負担比率(%)	-	-	20.0	23.4	
	1部屋当たりコスト(円)	-	-	1,083,034	1,117,793	
備考	受益者負担比率とは、住宅にかかる行政費用に対する、入居者の負担する使用料及び共益費が占める割合である。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	入居率(%)	100	100	100	100	100
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合	<input type="radio"/> 廃止		
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○空き室待ち登録者の応募数は多く、ニーズが高い。</p> <p>○施設の経年劣化、住宅設備の更新等による住宅改修費用が増加傾向にある。</p> <p>○高齢者用区営住宅の必要性はある一方、事業開始当初と住宅を取り巻く環境が変化したことから、改めてそのあり方を検討する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	○現状の規模で事業を継続しつつ、高齢者住宅のあり方を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



>>施設分析シート・現年作業用||-1|

